

事務所訪問

札幌の奥座敷「定山溪温泉」と市内中心部を結ぶ 定山溪国道が、長年の交通課題解決に向けて 4車線化を完了

国道230号 定山溪拡幅

令和5年3月、札幌開発建設部が整備を進めてきた定山溪国道 札幌市南区石山～定山溪温泉間の4車線拡幅において、最後の区間の工事が完了し、供用が開始された。札幌市内中心部と道内屈指の観光地である定山溪温泉や洞爺湖などを結ぶ国道230号の慢性的な渋滞緩和の大きな期待が寄せられていた4車線化の実現。整備を進めてきた札幌開発建設部に事業の背景や整備後の効果などお話を聞いた。



国土交通省 北海道開発局
札幌開発建設部 札幌道路事務所
第1工務課 第1工務係

技官 本田 拓斗 氏

——定山溪間拡幅事業の背景や概要を教えてください。

定山溪拡幅事業が行われた区間を含む国道230号は、北海道の中核都市である札幌市を起点とし、せたな町に至る総延長約150kmの主要幹線道路です。このうち、今回整備が完了した定山溪拡幅事業は延長が2.8km(図1)。札幌市内中心部と道内屈指の観光地である定山溪温泉や洞爺湖を結ぶ区間です。ここで発生

する慢性的な交通混雑を緩和し、道路交通の定時性や安全性の向上を目的として4車線拡幅工事を行いました(図2)。

平成23年度に事業化され、平成25年度に工事着手、今年の3月に4車線供用を迎えました。これまで、札幌の中心部と定山溪温泉を結ぶ国道230号では交通課題解決のため4車線拡幅整備を実施しており、昭和46年度に始まった石山バイパス事業から約50年をかけ、定山溪温泉までの4車線化が完了したことになります。



図1 定山溪拡幅事業区間

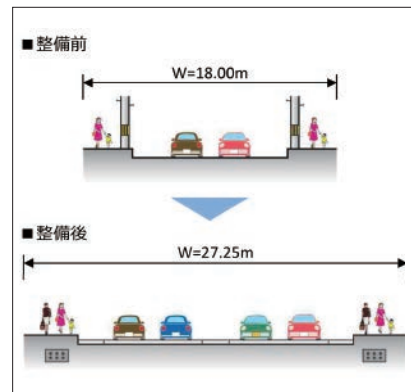


図2 整備前と整備後のイメージ。
電線類の地中化も進め、歩行者のための歩道も広く確保

——この区間は、観光シーズンにたびたび渋滞が発生していました。開通前の課題を教えてください。

今回の事業区間は、札幌市から留寿都や洞爺湖といった主要な観光地を経由し、道央圏と道南圏を連絡する重要なルートの一部を担っております。事業区間内には定山溪温泉という観光地を抱えていることもあり、特に大型連休や秋の行楽シーズンには、観光地を往来する車による渋滞が課題となっていました(写真1)。また、渋滞の発生によって後志や胆振方面と札幌市中心部を移動する通過交通の円滑性が阻害され、観光バスの運行に支障をきたすほか、札幌市内の市場で取引される農産物の輸送にも時間を要するといった問題がありました。

これまで石山地区から進めてきた拡幅整備によって徐々に渋滞箇所は減少してきておりましたが、定山溪温泉街における渋滞混雑を解消しない限り、これらの問題が完全には改善されないことから、課題解決に向け事業に着手することといたしました。

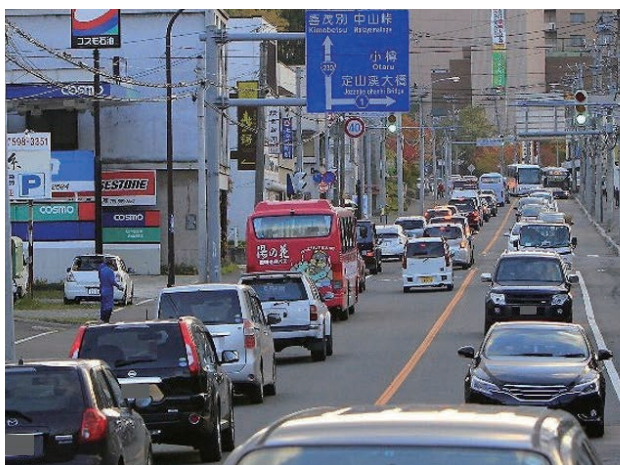


写真1 定山溪温泉街拡幅前の様子。行楽シーズンは常にこのような状態

——工事は順調に進んだのでしょうか？ また工事中、特に工夫した点があれば教えてください。

工事そのものは順調でした。地質的には軟弱というよりは固めの軟岩とか中硬岩といった地質です。トンネル工事も円滑に掘削できました。一方で、同時に進めていた電線類の地中化の際は、硬い土層の出現により掘削に苦慮しました。

この区間は、コロナ禍における行動制限期間であっても、1日の交通量が約15,000台と道路利用者が非常に



写真2 工事中の様子。交通を遮断することのないよう、切り替えなど工夫しながら実施

多い場所です。そのため、工事は車線数が減少しないように道路を左右に切り替えながら行うなど、特に交通に配慮しながら進めなくてはなりません。また、定山溪は観光地としてだけでなく、一般の住宅も混在するエリアのため、宿泊する観光客と同時に沿道にお住まいの方々への配慮もしっかり行わなくてはなりません。例えば、騒音や飛散物防止を目的とした防護板を設置しながら作業すること、道路を切り替える際には、事前に案内チラシを配布したり家屋や施設への出入口がわかりやすいように仮設の案内看板を設置したりするなど、細心の注意を払いながら工事を進めました(写真2)。さらに、工事を行う時間帯についても、営業している店舗の前では利用者が少ない夜間での施工とし、民家の前では外出中の昼間に作業を行うなど、施工箇所ごとの調整を行っていました。

——整備後の効果について教えてください。

車線数の増加と右折レーンの設置により、走行環境が改善することで渋滞長(1度の青信号で通過しきれなかった車両が続く長さ)の減少や、旅行速度(対象区間延長を信号や渋滞等による停止時間を含めた所要時間で割った速度)の向上など、交通混雑の緩和が期待されています。通勤・通学で都心部を往来する住民の方にとっても、定時性が改善されるのではないのでしょうか。

この区間の主要な渋滞ポイントである道道小樽定山溪線との交差点(定山溪市街交差点)においては、洞爺湖方面へ向かう渋滞長が平均で3.6km、札幌市街方面へ向かう渋滞長が平均で1.6km発生しておりまし

たが、4車線化と右折レーンの整備によって渋滞長が減少することが見込まれます(写真3・図3)。

また、平成28年に開通した小金湯拡幅事業区間では、旅行速度が約1.8倍に向上しており、当該事業区間も同様の速度向上効果を期待しているところです(写真4・図4)。

併せて、交通混雑の緩和により、通過交通の支障と



写真3 4車線化後の定山溪温泉街。右折レーンも設けられ、渋滞はかなり緩和

なる渋滞が減少することで、路線バスや観光バスの運行が確保され、物流の安全性・確実性も向上することも見込まれます。特に、札幌市中央卸売市場における胆振産イチゴの取扱量が近年増加傾向にあり、当該区間の役割はさらに重要になっています(図5)。

ほかにも、交通混雑の緩和で喜茂別町や定山溪地域から札幌中心部の医療機関への救急搬送の安定性向上、渋滞車両への追突及び追い抜きによる正面衝突といった交通事故の低減も計られることになるのではないかと考えています。

また、拡幅事業と一体となって行われている無電柱化が完了すれば、安全な歩行空間が確保され、電柱のない美しい街並みを形成するとともに地域プロジェクトと一体となった地域の活性化が期待されます。

——定山溪という土地柄、地域からの要望にはどんな声がありましたか？

定山溪は、ホテル・旅館や食事処といった商業・観光

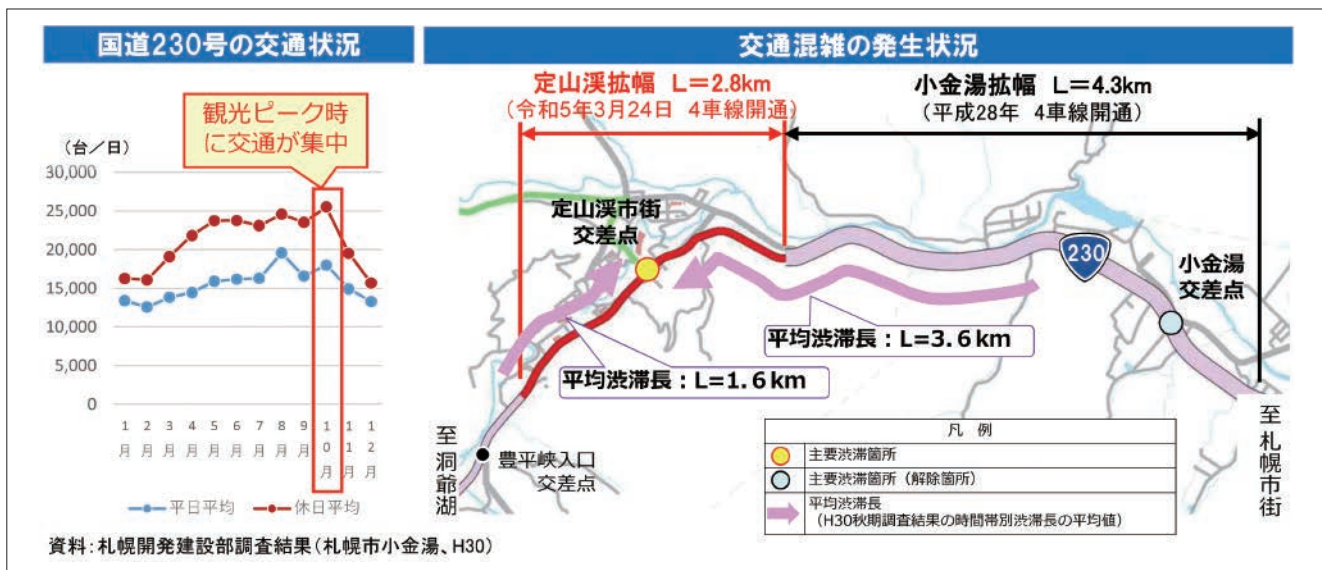


図3 平成28年に開通した小金湯拡幅と今回開通した定山溪拡幅の交通渋滞発生状況

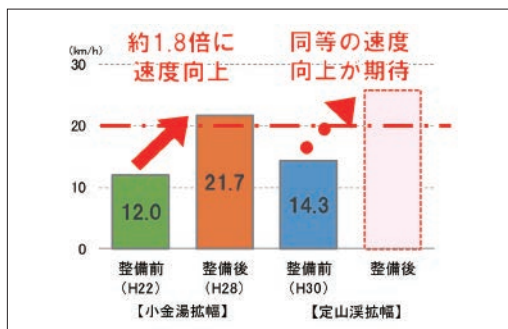


図4 小金湯拡幅事業による旅行速度向上効果(定山溪拡幅事業の効果は今後検証予定)



写真4 小金湯拡幅事業 整備後の様子

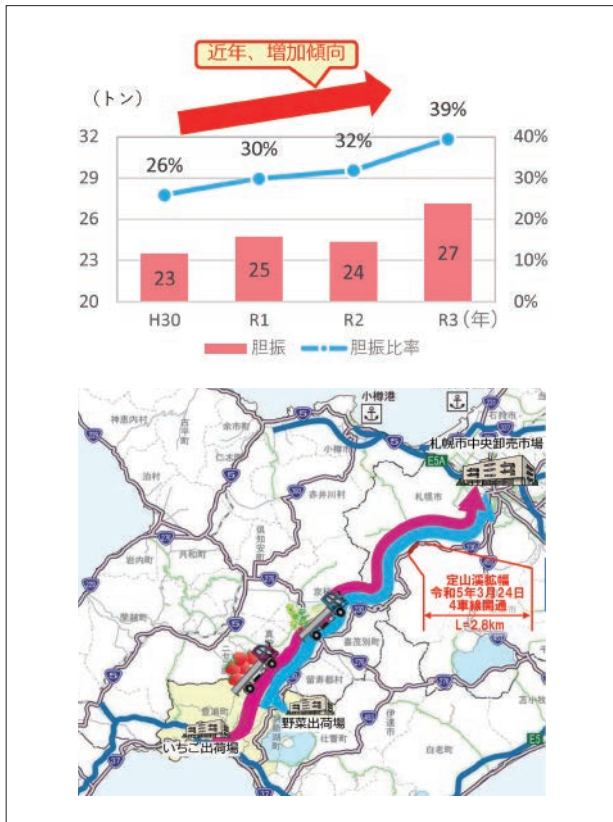


図5 札幌市中央卸売市場での胆振産イチゴの取扱量・取扱割合の推移

施設と日常生活を営む住宅とが隣り合って共存する地域です。それぞれの利用者が道路に求める機能や役割も異なることから、双方の声を取り入れ、より良い事業とすることが重要でした。

事業化前の調査段階では、温泉街を回避した別ルートによるバイパス案を候補としていましたが、地域のみさんから、「温泉街として利用がしづらくなるのでは」「交通の通過地になってしまうかもしれない」などといった声をいただき、現道を拡幅する整備方針で検討を行いました。

工事着手後から供用開始に至るまでは、住民とホテル・旅館や食事処等に携わる方々、双方の声を常に意識しながら工事を進めました。

住民の中にはご高齢の方も多く、札幌の市街地に買い物に出ると、帰り道で渋滞してなかなか戻ってこられず、出かけるだけでひと苦勞というお話もありましたので、課題解決は本当に急務でした。

さらに、胆振方面から札幌の市場に農産物を輸送する際も、秋の混雑や冬の堆雪による幅員減少などが道路課題としてありました。これも、観光地と生活圏が混在する定山溪ならではの課題だったのではないのでしょうか。

また、交通安全上の対応として中央分離帯を設ける

際には、住宅からの出入りなど日常の利用方法について意見をいただき、部分的にゼブラ区画線を用いた分離構造にした箇所もありましたが、沿道の皆様の思いとして共通していたのは、「安全で走りやすい道路にしてください」ということでした(写真5)。



写真5 住宅や店舗の出入りに配慮して採用した、ゼブラ区画線の中央分離帯

——読者のみなさんへ、アピールすべきポイントがあれば教えてください。

今回の供用で、昭和46年度に始まった石山バイパスの整備から約50年の歳月を経て、定山溪拡幅まで合計17.6kmの拡幅が完了しました。これまで、定山溪と言えば「渋滞」というイメージの方も多かったと思いますが、そういった懸念はなくなったのかなと感じています。

今年3月に4車線供用をスタートし、初めて迎えたゴールデンウィークの状況について、沿道に住まわれている方から「観光客がコロナ禍前に戻りつつある中でも、温泉街は渋滞せずスムーズに車が流れていた。20年来で初めてのこと」といったお話を聞かせていただきました。

バスを待っていた観光客からも「道路がキレイになって良くなった」と、うれしいお言葉をいただきました。

札幌市内中心部から車で約50分の定山溪温泉街には最近、新しいカフェやパン屋さんなど、魅力的なスポットも続々と増えています。秋は紅葉の名所としてたくさんの観光客が訪れますし、中山峠の先にあるニセコ地区や洞爺湖などさまざまな観光地と札幌圏を結ぶ中継地でもあります。国道230号は、レジャーに欠かせない道路の一つです。皆様もぜひ、アクセスしやすくなった定山溪温泉街に立ち寄ったり、その先の観光地を目指したりと、新しい国道230号を使って、渋滞を気にせず観光を楽しんでいただけたらと思います。